

合理的配慮の提供事例報告書【小学校】

事例の概要

可能な限り同学年児童と同じ学習内容を望む保護者の願いに添えるように検討を行い、タブレット型端末を使用した学習内容の理解促進を図った。また、多くの人が参観する学校行事等の機会における児童の不安感や保護者の心情への配慮、障害に起因する運動面の困難さを克服するために学習内容の変更・調整を行った。

1 対象児童の障害種

知的障害

2 障害の程度

該当(知的障害)

※学校教育法施行令22条の3に該当か非該当か

3 在籍状況

小学校・特別支援学級

4 学年

小6

5 対象児童の実態

中度知的障害と診断されている児童で、身辺処理は概ねできるが靴の左右弁別や魚の骨の除去、多めの荷物をランドセルに収納する、時間(予定)の告知などの援助は必要である。
指の力が弱く、微細運動を苦手とするとともに、関節の可動域が狭いために走る、跳ぶなどの運動姿勢が不安定である。
教師や友だちに自ら話かけることはできるが、話の内容を理解することが難しく、相手のことばをエコラリアで返し、正しく状況理解したり、返答したりできないことがある。
ひらがなやカタカナは読み書きできる。該当学年の漢字の習得は5割程度である。
九九の暗唱や簡単なわり算のひっ算などは機械的に出来るが、数の大小や長短、時間など数学的な概念形成は理解が難しい。
地元中学校の特別支援学級への進学を希望している。

6 対象児童についての合意形成に至るまでの経緯

(1 誰からの申し出か 2 申し出の内容 3 連携、調整した関係機関 4 合意形成に至った結論)

小学校入学時に特別支援学級への入級に際し、保護者から、「できる限り同学年児童と同じ教育内容を行って欲しい。また、そのための支援をお願いしたい」との申し出があり、教育委員会やかかりつけの医療・療育機関とも連携しながら支援を検討し、実施していった。

7 基礎的環境整備の視点と概要

基礎③ 個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成等による指導

児童の実態を把握したうえで、担任中心に個別の支援・指導計画を作成し、関係教職員で共通理解を図りながら校内支援体制を充実させている。内容については、本人や保護者に懇談等の機会を利用して、十分に説明し合意形成を図るとともに、定期的な評価・改善を行っている。

基礎④ 教材の確保

B町では、各学校の特別支援学級に対して補助教材に係る費用を予算化し、各学校で児童生徒の障害に応じた補助的な教材の確保ができるようにしている。また、教科書については、必要な児童生徒には、検定教科書の提供ができるようにしている。

8 合理的配慮の観点と概要

合理①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮

A児の学習において視覚的な情報を扱うことで習得内容の理解度が向上することから、保護者への提案を経て理解を得ながら、タブレット型端末の利用を行っている。各教科における調べ活動や動画の提示、ドリル学習での利用が主である。また、交流学級での授業は、板書の量が多いことから、板書をタブレット端末のカメラ機能を利用して撮影し、児童の手元で提示してノートをとる形での利用も行った。

合理①-1-2 学習内容の変更・調整

障害特性から、運動面でのぎこちなさや困難な動きがあるA児にとって、運動会や水泳記録会、マラソン大会、学習発表会など多くの人が参観する場は不安であり、保護者からしても周囲との差を感じやすい機会となってしまう可能性があった。そのため、目標設定について保護者の理解を十分に得ながら、十分な練習時間を確保するために学習内容の変更・調整を行っている。主に自立活動の時間を利用して実施した。教室でクッション性のあるマットを使用して、組体操の技の練習や泳法の練習を行ったり、バトンパスやクラウチングスタートの練習を体育館で行ったりした。また、音読の発表では、暗唱が困難であったことから、手元でめくりながら読める音読カードを作成し、使い方とともに音読の練習を行った。

9 成果と課題

<成果>

タブレット型端末の利用は、学習内容の理解が進むとともに、作業時間の効率化や興味をもって授業に臨む姿が確認された。

事前の練習時間の確保にともなう学習内容の変更・調整においては、児童のスキル向上により、安心して同学年児童との練習や本番に臨むことができ、成功体験は本児の自信につながった。

<課題>

連絡帳の記入欄がA児には小さく、書いた文字がはみ出したり、書くのに時間がかかっていたため、大きな記入欄の用紙を貼って使用することを保護者に提案したが合意には至らなかった。A児の実態から必要な配慮と考えられたが、保護者は同学年の児童とできる限り同じようにして欲しいとの願いをもたれていたため、A児が連絡帳を書けるだけの時間の確保を行うことを配慮とした。